

報道関係各位

2023年9月4日
株式会社アルヌール

**アルヌール、名古屋大学と
希少成分であるフコキサンチン抽出後の
藻類バイオマスからバイオ燃料の精製に成功！
～ バイオ燃料生産新時代へ !!～**

パス株式会社（東京都渋谷区、東証スタンダード市場 コード番号 3840）の連結子会社である株式会社アルヌール（以下、アルヌール）は、この度、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院工学研究科神田英輝助教と、アルヌールで製造した藻類バイオマスよりフコキサンチン抽出後に得られる脂質から、バイオ燃料を精製する事に成功したことをご報告いたします。

アルヌールでは、2020年11月設立以来自社のR&Dセンターにおいて自社開発によるLEDを使用したオリジナルの屋内型微細藻類培養装置により、微細藻類の安定した「屋内連続培養」と有用成分であります「フコキサンチン」の抽出を行っております。

アルヌールでは以前より、地球温暖化に影響を与える化石燃料の代替エネルギーとして世界的な注目を集めながらも、藻類バイオマスからのバイオ燃料が普及しない原因として、次の二つを主な要因と考えておりました。

- ① 屋外・屋内を問わず、藻類単体による大量培養は技術的に大変困難であること。
- ② バイオ燃料を生産するために藻類培養を行ってはいは決して採算ラインが見えてこないこと。



<精製されたバイオ燃料>

藻類バイオマスは、課題である大量培養が革新的な技術改良により解決できれば、あらゆる藻類がカスケード利用（多段階利用：一種類の藻類バイオマス生産から、CO₂削減・多種類の希少成分抽出・残渣活用）が可能であり、脂質以外の活用で収益が得られれば、脂質自体は生産コストゼロの産業廃棄物と捉えることができ、結果的に採算の取れるバイオ燃料生産も実現可能と思われま

またアルヌールでは、屋内においてLEDによる人工光利用であることから、ロケーションを一切選ばず目
つ低面積で済み、それ故にCO2の発生現場の隣接地でダイレクトにCO2削減が可能であるだけでな
く、最終的に脂質から得られたバイオ燃料を地産地消していくことも出来るため、全世界あらゆる地域で
の展開が可能となります。当社ではこのスキームを藻類によるバイオ燃料生産を唯一成功させるスキーム
と捉え、今後更なる開発を進め、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



■株式会社アルヌールについて <https://www.alnur.jp/>

会 社 名：株式会社アルヌール

本 社：東京都渋谷区神宮前六丁目17番11号 JPR 原宿ビル

R&Dセンター：東京都豊島区高田一丁目25番3号

代 表 者：代表取締役 星 淳行

創 立：2020年11月

資 本 金：30,000,000円

事 業 概 要：主に微細藻類を中心とした、バイオメディカル・ヘルスケア分野における研究・開発と
製造販売・関連製品及び技術の輸出入販売

<報道関係の方からのお問い合わせ>

パス株式会社 管理本部 小佐々 由美

TEL: 03-6823-6664

E-Mail : info@pathway.co.jp